

## 各大学 学長先生の皆様へ

近年、社会においてはダイバーシティでインクルーシブな環境の醸成が求められています。

この意識は教育を通して培われるもので、特に大学における障害学生の受け入れと入学後の支援については、障害がない学生にとっても同じ学び舎で席を共にすることによって、あるいは支援に直接携わることによって、「しょうがい」を我が事として認識する絶好の機会となります。

さらに多様化する学生(ジェンダー、留学生、社会人、等々)の一属性として障害学生を位置付けた場合、多様化に即した大学経営に我々学長は直面しています。

今回で15回目となるこの連絡会議は「障害学生支援大学長連絡会議」を銘打っていますが、上記のような社会情勢を踏まえて、会議名称を変更することも検討すべき時期にあるのかとも存じます。

このたびご案内している会議は、大学経営者が上記の意識を共有し、経営に直結する方策を探るために実施するものです。

国公立に関わらず、多くの大学の学長の皆さまにご参加いただき、ダイバーシティでインクルーシブな大学経営について意見や情報の交換が出来れば幸甚です。会議は対面、オンラインの何れの方法でも参加可能です。

多くの学長先生のご参加をお待ちしております。

令和6年11月吉日  
主催大学(筑波技術大学)学長  
石原保志